

Atsuko Kudo Mail Magazine 214

2015.07.24 California

お元気でいらっしゃいますか? 紫陽花が美しい季節になりました。ハンブルク は、日によって温度差はありますが、とても快 適な天候が続いています。

日本は大変な猛暑のようですが、皆さま体調は 守られているでしょうか。

6月26日~7月9日、2週間に亘ったカリフォルニア・ツアーで大変感謝な奉仕をさせていただき、7月9日、無事ハンブルクに戻りました。こちらに戻ってから、税金申告や、来週からプラハで開催される「ヨーロッパ・キリスト者の集い」の準備に急ピッチで取りかかる必要があったため、報告が遅くなってしまいましたこと、どうぞお許しください。

● Los Angeles (天使たち)

ました。

敵は、よほど私がカリフォルニアに奉仕に行くことを妨害したかったのでしょうか、ロサンジェルスに出発する日、信じられないようなハプニングの連続でした。まず、家から空港までの地下鉄が事故、空港では、空港従業員の半分がストライキで、手荷物検査場の半分しか開いていません。しかも、この日から始まった夏休みで、空港内は長蛇の列。更に、並んでいる最中に、手荷物検査の一つのベルトコンベアの下から火災が発生して、検査場の8割が閉鎖になり、両端にわずか二箇所で作動している検査場へと押しやられ、さらなる長蛇の列となりました。

やっと搭乗口に辿り着いた時には、出発時間を 15 分も過ぎていました。「もう遅すぎです」と言われ、一度はあきらめましたが、飛行機はまだ離陸しておらず、何とか乗り込むことができました。その後、空港内火災事故の混乱で、機内で 50 分も待たされることになり

乗り継ぎのパリ空港に到着した時には、次の LA 行きの便まで 20 分しかありませんでした。走りに走って、離陸 10 分前に搭乗口に到着。しかし、私の名前が削除されているというのです。それでも、数分後には機内に通してもらうことが出来ました。10 時間余りの飛行後、無事にロサンジェルス空港に到着しましたが、案の定、私の荷物は出て来ません。けれども、翌日夜遅く、無事荷物が滞在先に届けられ、2 日後のコンサートに間に合いました。



このように、信じられないようなハプニングの連続でしたが、祈りの中で、主が絶えず不思議な平安を与えてくださいました。また、神は、要所で助け人を与えてくださいました。

ハンブルクの地下鉄ホームでスーッと私に近寄り、「路線で事故が起きたらしい。電車がいつ来るか分からないそうよ」と教えてくれた女性。手荷物検査場の長蛇の列で、私だけでなく、多くの人が「自分たちの便も、間もなく出発するんだ」と青ざめる中、私の腕をつかんで「早く前に行きなさい!」と列の先方に押し出してくれた中国人女性。そこで私を待ち構えていたかのように、スマホで出発時間を調べ、「私の便は 17 分の遅延、あなたの便は 5 分しか遅れが出ていないから、私の前に入りなさい。」と列に加えてくれた若いドイツ人女性。「天使たち」(Los Angeles)と名付けられた町へ行くために、もしかすると、あの女性たちは、神が遣わしてくださった「天使たち」だったのでしょうか・・・?

●聖霊の力、神の愛、信仰、喜んで仕える霊

26日 LA 到着後、28日(日)ウェストロサンジェルス・ホーリネス教会礼拝での賛美メッセージと60周年記念コンサート、30日(火)~7月3日(金)北米ホーリネス教団・夏期修養会での賛美奉仕、7月5日(日)サンロレンゾ教会コンサート(北加日語クリスチャン委員会主催)と、かなりのハードスケジュールでしたが、すべて感謝に溢れる奉仕をさせていただくことができました。皆さんのお祈りのお支えがあったことをひしひと感じました。心から感謝いたします!



求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見 つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであれ、 求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。(マタイ 7:7-8)

今年に入ってから、「聖霊の力」「神の愛」「信仰」「喜んで仕える霊」を、大胆に神に祈り求めるようになりました。 そして、求める者には豊かに与えてくださる神の恵みを、今回も毎日のように体験させていただきました。皆様も、 今後の奉仕のために、この4つが私に豊かに与えられますようお祈りいただけますなら感謝です。

●ホーリネス

サンタバーバラの美しいウエストモント・カレッジで開催された、76回目の北米ホーリネス教団・夏期修養会では、賛美ゲストとして、講演での特別賛美、賛美セミナー、コンサートの奉仕をさせていただきました。

私は、これまで何人かのホーリネス教団に属する友人と親しくさせていただいて来ましたが、教団の成り立ちと「ホーリネス」の意味が、今一つ理解できていませんでした。

今回の修養会の講師として日本から招かれた藤本満先生(インマヌエル高津キリスト教会牧師)は、「信仰から愛へ」と題し、ガラテヤ書から、4回に亘って、素晴らしいメッセージを語ってくださいました。その中で、先生が、



教団の成り立ちを、その信仰の基盤の大元であるジョン・ウェスレーまでさかのぼって説明してくださいました。そして、これまでの歩みの中で生じた問題点にも向き合い、「ホーリネス」の本来の意味を聖書から説明し、また、これからどのように歩むべきなのかを、みことばから深く、熱く語ってくださいました。

「ホーリネス」とは「きよめ」あるいは「きよさ」。これは、本来すべてのクリスチャンのあるべき姿であり、また求めるべき生き方・歩みです。私自身、自分の生き方を探られ、日々、みことばの真実に触れてきよめられて行くようでした。そして、修養会全体の霊性が、日ごとに高められて行くのを感じました。

豊かな恵みをいただいた修養会が終わってから、ひとつ気付かされたことがあります。それは、「教理」がみことばの真理を離れて独り歩きする時、律法的になるということでした。しかし、みことばの真理に生きるなら、イエス様こそ永遠のみことばなのですから、そこには、神の愛、なぐさめ、励まし、聖霊の力、いのちがあります。

来週から、チェコでヨーロッパ・キリスト者の集いが開催されますが、今回のテーマは、「すべての人に真実を」です。

わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。(ヨハネ 8:31-32、新共同訳)

真理であるイエス様にとどまり続ける者でありたい、この真理を伝える者でありたいと願いつつ、今、来週の集いの 準備に励んでいるところです。

*写真:藤本満牧師・圭子先生ご夫妻、特別賛美で伴奏をしてくださったプロギタリストの田中ホセさん、たくさんのお世話をしてくださったホセさんの奥様の裕子さんと。

お祈りください。

7月29日(水)~8月2日(日)、チェコのプラハで、「第32回ヨーロッパ・キリスト者の集い」が開催されます。今年も、賛美チームのスタッフとして奉仕をいたします。その準備も大詰めを迎えました。どうぞ、出発まで十分な備えができますように、主が一切の攻撃から守ってくださり、祝された大会となりますよう、お祈りください。

その後の予定は、以下の通りです。

8月2日(日)~4日(火) プラハ、オプショナルツアー

8月9日(日)マリア福音姉妹会イスラエル・サンデー(メッセンジャー:ヴェルナー・オーダー師、ドイツ・ダルムシュタット市)

主イエス・キリストの恵みが、皆さまと共にありますように!

Atsuko Kudo



北米滞在の最終日、サンロレンゾ教会の島田直牧師・知子さんご夫妻、教会英語部スタッフのスターン&ジョディご夫妻、 プロゴルファーの卵の M さんと、ヨセミテ国立公園にて